

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路維持補修事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	染谷 祐治			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が管理する道路	意図	道路及び附属施設等の機能の劣化又は破損等に対応した補修・改善を実施し、道路構造等を適切な状態に維持保全することで、交通の安全を確保する。
事業内容	・舗装補修、道路側溝の補修又は改修（一部新設を含む）、その他、道路附属施設の補修（一部新設を含む）の実施。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和42年、市制施行とともに開始。道路の維持補修事業は、車両保有台数・交通量の増加とともに、道路利用者の安全確保のため、将来にわたって継続する問題である。近年は、宅地開発、区画整理事業等により管理延長が増加しており、機能維持や情報整理の他、高齢化に伴うバリアフリー対応が求められる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		道路舗装補修延長	1,737	2,405	2,507	m	
	情報処理件数	416	385	365	件		市民及びパトロール等による情報処理件数
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・近年の交通量増加に伴い、路面等の補修は他の工事現場と合せて発注するなど、経費の節減に努めている。 ・二次的災害を防ぐため、速やかに小破修繕工事に対応している。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		207,066,460	248,371,560	242,918,708			
事業費(b)(円)		189,903,960	231,591,560	226,438,708			
うち一般財源		165,015,960	171,298,560	155,038,708			
職員給与費(c)(円)		17,162,500	16,780,000	16,480,000			
人役・職員(人)		2.50	2.50	2.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

H30当初の改善計画(Plan)	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向け、区画道路の路面性状基礎調査を完了させる。 幹線・補助幹線道路については、舗装維持管理計画に基づく補修を推進する。
H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 区画道路の路面性状基礎調査を完了させた。 幹線・補助幹線道路は、舗装維持管理計画に基づき、公共施設等適正管理推進事業債を活用して補修した。

取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> 区画道路においても、公共施設等適正管理推進事業債を活用した、より計画的な長寿命化を図る。
課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 区画道路についても、より計画的な長寿命化に向けて、舗装維持管理計画を策定する。